

平成25年度学生支援プロジェクト事業審査結果一覧

No.	プロジェクト名	概要	配分額(円)
1	こどもまつり	地域の子供たちが楽しめる場を提供するという目的のもと、大学祭で手づくりのすべり台や迷路、また幼児も楽しく遊べるような空間を作る。	110,000
2	英語ガイドでおもてなしプロジェクト	高松の隠れた魅力を世界に発信し、高松の活性化に貢献することを目的として、瀬戸内国際芸術祭に訪れる外国人旅行者を対象とした英語のガイドツアーを高松港周辺にて行う。	150,000
3	茶の湯を通じての日本文化交流会	茶道を通じて留学生との交流を行う。その際、着物や浴衣を着る体験もともに行う。	100,000
4	登山者のより安全な登山と三侯山荘における診療設備の充実化を目指して	三侯山荘に併設されている診療所の診療器具を一層充実させる。登下山中の登山者の緊急事態に備えて補助機材を導入することで、更なる登山者の安全を確保することを目的とする。	230,000
5	広げよう救命の連鎖 ～救命処置の普及を目指して～	救命蘇生の講習会を通して地域の人々や他大学との交流を深める。救命蘇生のトレーニングコースである「BLS」及び「ICLS」を学生が自主性をもって広める。	230,000
6	飛び出せ、音符！	地域施設における音楽活動を介し、生演奏に触れ合う機会を作り、交流の場を提供する。学生が音楽を楽しんで演奏でき、かつ地域と香川大学の関わりも深める。	290,000
7	～瀬戸内の島嶼部の医療を考えませんか？～ 国内交流会 in 香川	瀬戸内の島々の事例をもとに、島嶼部の地域の活性化や生活、またそれらが島民の健康に与えてきた影響などを参加者間で共有し、地域医療や医療と経済の関係について勉強会を開催することで、将来的なヒューマンネットワークの形成につなげる。	170,000
8	もっと知りたい人工衛星！	地球の周りで数多くの人工衛星が運用されていることを知ってもらうとともに、香川大学で開発したSTARS(KUKAI)についても興味を持ってもらう。	190,000
9	香川大学ブランド「UU (Udon University)」	香川大学のブランド力の向上を目標に、大学ブランドの商品作りという観点から、「学生の欲しいを学生に聞き学生が生み出す」ということをモットーに、ワールドカフェの開催やプライベートブランドの創出などを行う。	310,000
10	食堂メニュー電子化による食堂支援プロジェクト	食堂の利用を豊かにすることを目的とした食堂メニューの電子化を提案する。電子化したメニューを組み合わせ選択することでカロリーや値段を知ることができ、実際に食べたメニューを記録することで食の振り返りができるシステムを開発する。	250,000
11	理科実験・ものづくり教育支援活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の理科やものづくりに対する興味喚起</li> <li>・体験学習を通じた科学技術理解への支援</li> <li>・コミュニケーション能力の向上</li> </ul>	300,000
12	地域活性香農プロジェクト	香川大学農学部で発見・開発され、全国的に有名になった希少糖を使った地域ブランドの製品づくりや子どもたちとの食育を行うことで、地域や大学の活性化につなげる。	260,000
13	元気いっぱい「かわらまち」 —サイエンスによる地域貢献	地域貢献事業である「夢化学21」を中心に、高松天満屋と香川大学ミッドプラザをつなぐミニイベントの開催、高松天満屋を会場にしたサイエンス展の実施、参加企業とのコラボレーション企画を計画・実施することにより、地域活性化とサイエンスの普及に貢献する。	300,000

配分額合計 2,890,000円